

新たなスポーツ拠点に

市民サッカー場 23年度末完成へ起工

市が金沢城北市民運動公園内で再整備する市民サッカー場の起工式が28日、磯部町の建設予定地で行われ、関係者約50人がスポーツの新たな拠点の発展を願

った。2023年9月のサッカー場完成、23年度末の周辺整備完了を目指す。

式では山野之義市長が「市民からプロ選手までが活用し、新たなスポーツ交流拠点として親しまれることを願っている」とあいさつした。久保洋子市議会議長が祝辞を述べ、上田雅大市議会建設企業常任委員長の発声で乾杯した。

市民サッカー場は鉄筋コンクリート造と鉄骨造の4階建てで、延べ床面積は約1万9千平方メートル。約1万人を収容でき、全ての観客席に屋根を設ける。事業費は約79億8千万円を見込む。



市民サッカー場の完成イメージ